

M20220831_03_MedUni

乳ガン、脳転移を縮小する新薬

MedUni Vienna 主導のオーストラリアの研究は、乳ガン患者の活性脳転移が、新しいクラスの薬剤によって特に、あるいは完全に後退したことを示した。これは抗体と化学療法薬剤の化学的結合であり、現在の成果によると、腫瘍学研究、標的治療に全く新しい道を開く。研究結果は、"Nature Medicine"に発表された。また、脳転移の治療、恐ろしいガンの合併症におけるパイオニアと考えられる。

研究は、HER2 陽性乳ガンおよび脳転移の 14 名の女性と 1 名の男性を含んでいた。被験者は、ウィーン医科腫瘍学部とウィーン大学病院によって処置された。研究では、Matthias Preusser と Rupert Bartsch をリーダーとするオーストリアのチームが、乳ガンが脳に広がる例における可能な新しい治療アプローチとしてトラスツマブ デルクステカン(T-Dxd)を調べた。

研究結果は以下の通りである。T-Dxd は 73.3%の患者で転移を縮小し、15 名(13.3%)の患者のうち 2 名の脳スキャンから転移は完全に消えた。この極めて肯定的な結果に加えて、研究チームは、その薬剤が耐容性が良好であることを確認した。治療中、参加者の脳機能、QoL の悪化は見られなかった。さらに、T-Dxd は、すでに EU および世界の他の地域で認可されている。「したがってオーストリアおよび国際的に専門腫瘍ユニットで脳転移の乳ガン患者の治療に直ちに使用可能である」と研究リーダー、Matthias Preusser は指摘している。

50%が脳転移

年に 5000 を超える新規症例で、乳ガンは、オーストリアでは、最も一般的な女性のガンである。このタイプのガンは、男性に影響するのは 1%以下。乳ガン患者の 15%が HER2 陽性乳ガン。このアグレッシブなガンの形態で、HER2(ヒト上皮細胞増殖因子受容体)が成長因子のドッキングサイトとしての役割を果たす。これによりガン細胞は分裂し、成長、転移する。転移性 HER2 陽性乳ガンの患者の 50%まででガンは脳へ転移する。

抗体・化学療法薬剤の結合

切除不能あるいは転移 HER2 陽性乳ガンの処置に 2021 年、欧州医薬品庁は T-Dxd を認可した。それは、HER2(トラスツマブ)に対する抗体と化学療法薬(デルクステカン)の化学的結合である。これまで、その新しい結合が、活性脳転移で効果があるかどうかは知られていなかった。最近の研究結果をベースにして、新しいクラスの薬剤へのさらなる研究が計画されている「われわれの成果は、乳ガンにおける臨床研究や脳転移の処置に全く新しい道を開く。他のタイプのガンにも可能性がある」と Matthias Preusser は、ガン治療の将来を楽観的に見ている。